



足立区のお知らせ

足立区千住一丁目50番(882) 編集・発行/足立区役所

- アツ地震
あわてずさわがずまず火の始末
- 大地震
避難は徒歩で 車は禁止
- 防災は
地域の連帯 町ぐるみ

防災市民組織づくり 区がモデル団体を指定

▽：いざというとき自分達の町を自分達の手で守ろうと、地域の人々が自主的に結成する…△
▽：防災市民組織。そのモデル団体をこのたびが指定しました。大災害に際しては、み：△
▽：みんなで力を合わせて立ち向かわなければ、被害を防ぐことができません。そういう意：△
▽：味で、モデル団体の今後の発展には大きな期待が寄せられています。

防災市民組織とは

区では、大地震対策の一環として、町会・自治会組織を母体とする、防災市民組織の育成を行なっています。去る十月十四日、四十九の防災市民組織モデル団体が発足しました。今回のモデル団体は、昨年すべての町会・自治会にお願いした、震災対策アンケートの結果をもとにして、区、警察、消防の三者で構成された協議会が、次のような基準で選びました。



真剣な町会の訓練風景

一定地域の区民の皆さんが自主的に結成する組織のことです。防災についての業務分担がある。モデル団体の性格上、地域条件を考慮に入れます。防災のための組織がある程度できて、現在活動している。防災についての業務分担がある。モデル団体の性格上、地域条件を考慮に入れます。

みなさんもご参加を 防災訓練を実施します

大地震が「いつ」「どこ」で発生するかの、今の段階では予知が不可能です。だからといって、「きたら逃げればよい」と大地震を軽く見たり、「地震がきたらおしまい」などとあきらめてはいけません。大地震による被害を最少におさえるための備えを常におこなうなければ、いつか必ず役に立つのです。

区でも、災害時に機敏な対策がうてるよう、大地震発生を想定した防災訓練(写真)を実施します。
日時 十月二十四日(金)
場所 荒川河川敷・東武鉄道橋下(流石岸(日の出緑地))

今後の計画
モデル団体に対しては、区、消防、警察が一体となって相談、協力に
応じていき、有能な防災市民組織へ
発展していくお手伝いをします。ま
た、活動に支障をきたさないよう、

地域の防災は
みんなの協力
区も、震災対策を重点施策として「災害に強い町づくり」に努力
しています。しかし、この過密化し
た東京を防災都市に生まれ変わらせ
るのは、そうたやすいことではありません。

地震と伝説
日本の大
十ツツツツ
の伝説は
魚だとす
る話の一
種です。

対象地域
常東出張所管内。この地
域のみさんには、町会・自治会を
通じて参加をお願いしてあります。
訓練内容
避難、消火活動、救助活
動、広報活動、医療救護、都市施
設応急復旧活動、物資輸送、応急
給水機など

消防訓練は、消防署、消防団の指
導で、消火器・三角バケツを使って
行ないます。
対象地域外のみさんにも、近所で
お誘いあわせのうえ、防災訓練にご
参加、ご見学ください。



- 第一話「地震のはなし」
- 第二話「地震と防災」
- 第三話「地震と防災」
- 第四話「地震と防災」
- 第五話「地震と防災」
- 第六話「地震と防災」
- 第七話「地震と防災」
- 第八話「地震と防災」
- 第九話「地震と防災」
- 第十話「地震と防災」

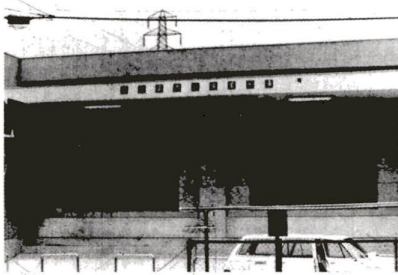
—備蓄倉庫—

備蓄倉庫には、震災・風水害に備えて、被災者のための食料や生活必需品、その他の物資が保存されています。

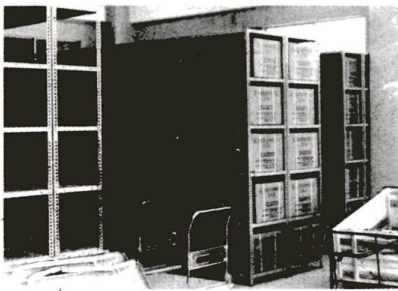
災害時に、被災者の救助活動を円滑にはこぶためには、救助に必要な物資を緊急に調達することが大切なので、平常時から倉庫に蓄えておくわけです。

主な備蓄品は、カンパン、粉ミルク、毛布、発電機、ゴザ、タオルなどです。

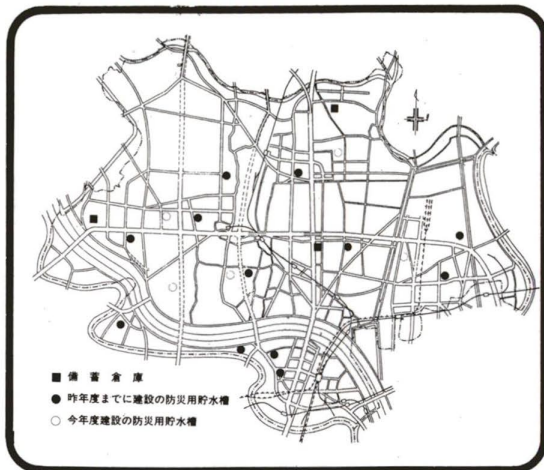
すでに建設されている中央本町・花畑の倉庫に加えて、今年の3月に鹿浜倉庫が完成し、区の備蓄倉庫は3か所となりました。今後も建設を続けていきます。



鹿浜備蓄倉庫外観



鹿浜備蓄倉庫内部



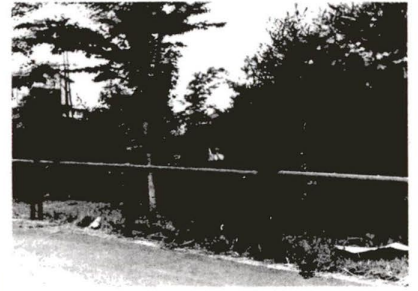
■ 備蓄倉庫
● 昨年度までに建設の防災用貯水槽
○ 今年度建設の防災用貯水槽

—防災用貯水槽—

震災時にすぐさま必要とされるもの、それは何といっても水です。

大地震時の火災には、たくさんの場所から一斉に発生するという特徴があります。地震で水道配管が破壊される恐れがある以上、消火用の水利の確保は重要な問題です。また、区民の飲料水も確保しなければなりません。

区は、防災用貯水槽(40t)の区立公園への設置を進めています。これは昭和55年までに30か所完成を目標としており、今年度までに17か所設置されます。貯水槽がすべて完成すれば、断水になったとしても、40t×30で120万リットルの水を供給できることになります。



西新井西公園の貯水槽

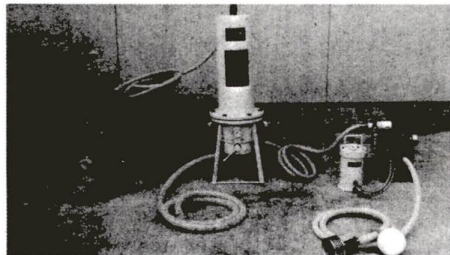


椿公園の貯水槽

—ろ過機—

防災用貯水槽の水は、飲料水と消火用水の両方に考えられていますが、震災時の状況によっては、そのほとんどを消火に使用してしまったりして、飲料水にまわせる量が少なくなることがあります。そうした場合には、区立小中学校にあるプールの水をろ過機でろ過して、飲料水に供給するという計画があります。

昭和50年度までにはろ過機を10台購入し、広域避難場所近くの小学校等に据えつけます。毎時2,500リットルのろ過能力を持ったものですが、今後も購入を続け、順次、小中学校等に設置していく予定です。また、ろ過した水の水質検査も定期的を実施していきます。



ろ過機一式

避難道路の整備を進めています

避難誘導標識と避難場所標識板

大地震の発生に備えて、区内には百二十か所の広域避難場所が指定されていますが、そのうちの三十七か所については、そこに到るまでの避難道路も指定されています。避難道路は、避難場所から遠く離れた地に住む人々や、火災による危険性の高い地区を通って避難する住民の安全を確保するためのものです。足立区の場合、区内六か所にある広域避難場所のうち、三か所について避難道路が指定されています。

それらに対しては避難行動の安全をはかるため、次のような施策を実施しています。

避難誘導標識と避難場所標識板

避難誘導標識と避難場所標識板、どちらも去る三月に設置が完了しましたので、すでに見かけられた方も多いことでしょう。

濃紺の地に、指定避難場所の名称とその方向を示す矢印が白色で表示された避難誘導標識は、避難道路に沿って約二百五十メートル間隔に立てられた緑色のポールに掲げられています。

この標識は、万一、避難が必要とされるような事態が起きた場合に、住民の皆さんを広域避難場所まで導いていく「道しるべ」といえるものです。



避難誘導標識



避難場所標識板

避難誘導標識をたどりながら進んでいくと、避難場所地図が表示されている看板に出会います。そこが広域避難場所の入口であり、大きな看板は避難場所標識板なのです。

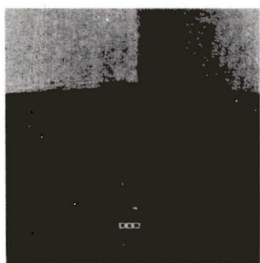
避難標識を道案内に、避難訓練をしてみませんか。いざというときにあわてて右往左往するのは、パニックの問題もあり、危険なことでしょう。自分の避難場所までの道順を知

三角バケツ無料配付

終了しました

三角バケツは、消火の時に中の水を四〜五回に分けてかけられる仕組みになっています。そのため、一回目に消火に失敗しても、すぐにまた消火にかかれるわけです。三日に一度水をくみかえれば、非常時の飲料水確保にも役立ちますので、くみかえを忘れないようにしてください。

二か年計画で行なわれた、二人以上の世帯への三角バケツ無料配付が終了しました。二年目にあたる今年度の配付対象は、昨年配付されなかった地域の二家庭と、昨年度の配付地域への、その後



なわれることを願って実施されました。必ず、水を満たしておいてください。

三角バケツではたら、二近所で誘いあわせた小規模な消火訓練も手軽に催せますし、水のくみかえの時を利

消火器の重点配備

避難道路は、避難の安全を確保するために、延焼火災の拡大から最後まで守りぬかなければならない重要な場所です。その周辺で火災が発生しても、初期のうちに消しとめられる体制をきずくため、今年度は約八百本の消火器を避難道路付近に配備していきます。

区は、火災の未然防止を目的として、すでに四千六百本余りの消火器を区内に配備していますが、それらは日常火災の初期消火に、めざましい働きをしめています。

火災は小さいうちに消しとめることが大切です。大きくなってしまうと手に負えなくなると、損害も大きくなることを忘れてはならないでしょう。

◎標識板類のなかには、ピラをばらしたり、らくがきをされたものがありますが、そのようなことは絶対にやめましょう。だれも見やすいように、大事にあつてくださ